

防災行動スゴロク

災害はいつ、どこで起こるか分かりません。だからこそ、日ごろからの備えが大切です。
9月の防災月間に合わせ、いざという時に命を守る行動をすごろくで見直してみましょう。

問 危機管理室 ☎072-892-0121

START

事前に備えておきましょう

1 ハザードマップを確認しよう

洪水や浸水のエリアを把握しよう



HP

2 避難所を確認しよう

場所と避難所までの安全なルートを確認しておこう



HP

3 防災情報に登録しよう

アプリやメールで情報を受け取れるようにしましょう



防災メール
防災アプリ



4 排水溝の点検

ごみが詰まると水が流れるので、掃除や確認が大事



5 気象情報を集めよう

テレビ・ラジオ・気象アプリで最新の情報をチェック



気象庁HP

6 もうすぐ台風が来そう

気象情報で台風が数日中に来るとの情報をキャッチしたら…

7 非常時の持ち出し品を確認しよう

用意している持ち出し品に抜けや古くなったものがないか確認。すぐ持ち出せる場所に保管しましょう



持ち出し品リスト

貴重品



情報収集用品



食糧



衛生用品



便利品



必要なものをそろえてすぐ持ち出せる場所に

目安 男性 15kg
女性 10kg



▲詳細はこちら

市の備え・支援体制



防災拠点の整備

災害時に、避難や救助、物資の輸送などを円滑に行うため、中心となる防災拠点を整備しています。



防災力を強化

トイレやシャワー、洗濯の機能を備えたトラックを導入。できるだけ日常に近い避難生活を送れるよう環境の整備を目指します。



他市との連携も強化

R8年に発生した熊本地震では、物資の提供に加え、AI循環式シャワーを届けました。またトイレトラックやランドリートラックも派遣しています。災害時における協定を、他の自治体や民間事業者と締結し、いざというときの相互支援の仕組みを構築しています。



＼R8年度から警報等が変わりました／

避難するタイミングを確認！

災害発生 レベル5 特別警報

今いる場所よりも安全な場所へ直ちに移動等する

数時間以内に発生の恐れ レベル4 危険警報

危険な場所から全員避難する

3時間前 レベル3 警報

避難に時間がかかる高齢者等は避難する

数時間前 レベル2 注意報

災害リスクを再確認

1日前 レベル1 早期注意情報

避難情報の把握手段を再確認

避難

11 台風が来た

雨や風が強くなってきた

10 洪水に備えて2階以上に

大事なものは高いところに運んでおきましょう



9 風で飛びそうなものは家の中へ

物干しざおや植木鉢等は片づけましょう



8 家族で予定を共有しよう

避難場所や連絡方法、役割分担等を決めておこう



12 警報レベルを確認

避難するタイミングをこまめに確認。レベル3で避難に時間がかかる人は避難。レベル4は危険な場所から全員避難



13 気になっても川には近づかないで

非常に危険な行動。災害に巻き込まれないために、川へは近づかないで！



14 避難所へ避難

避難所の共有避難所は守りましょう

15 台風通過、警報解除



GOAL

全員の無事を確認

NEXT STEP

防災訓練に参加しよう

詳細はこちら



応急手当の方法や消火器の使い方などが体験できる防災訓練を地区ごとに実施します。